

「幻の江の島の灯台(3)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

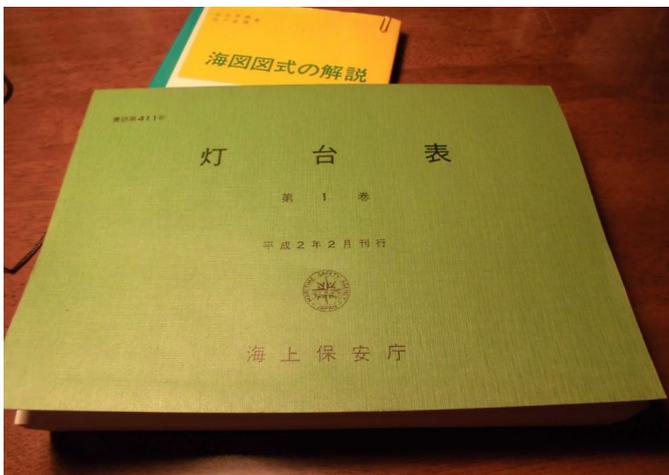
田中 千尋 Chihiro Tanaka

夕方に「観察」を始めた江の島。すっかり暮れると、更に富士山のシルエットがくっきりと姿を現した。同時に江の島の上に、灯火が現れた。灯火の正体は、どうやら「江の島灯台」のようだ。



私はウェブカメラの画像を、パソコンの全画面表示にしてその灯台の光を観察していた。灯台は船舶を安全に航行させる為の「航路標識」の一種である。航路標識にはいくつかの種類がある。日本にある航路標識には以下のようなものだ。

- 1) 灯台; 岬の灯台や防波堤灯台。
- 2) 灯標; 灯台より小型で、柱が光るようなもの。
- 3) 立標; 光らない柱状の航路標識。
- 4) 灯浮標; 海面に浮かんでいる灯台。
- 5) 浮標; いわゆる「ブイ」
- 6) 導標; 2つの灯台がペアになり、重なって見えるところが「安全な航路」という標識。昔の「湊(みお)」
- 7) 指向灯; 色によって安全な航路を示す航路標識。



これらの航路標識は、すべて「灯台表」(海上保安

庁発行)に掲載されている。一般には全く馴染みのない分厚い本だろう。私は、船舶免許を取得した時に購入した。今では「愛読書」の一冊で、旅行先で灯台を見つけると、帰宅後にこの本で名称や特徴を調べている。



江の島の地形図を見ると、灯台の記号が3つ見つかる。Aが映像で見ていた「江の島灯台」、Bが「湘南港灯台」、Cが「腰越港防波堤灯台」である。

2 4 1 5 . 9	腰越港防波堤灯台	Kosigoe Kō	35 18.1 N 139 29.6 E	Iso R 6s 等明暗赤光	明 3秒暗 3秒	8.7
2 4 1 6 F6332	江ノ島灯台	Eno Sima	35 17.8 N 139 28.9 E	F1 W 10s 単閃白光	毎10秒に1閃光	103
2 4 1 7	湘南港灯台	Syōnan Kō	35 17.7 N 139 29.5 E	Iso G 4s 明暗緑光	明 2秒暗 2秒	19
2 4 1 8 F6330	平塚灯台	Hiratuka	35 18.8 N 139 22.0 E	Al F1 (2) W R 10s 群閃赤白互光	毎7秒を隔て3秒間に赤白各1閃光	38
2 4 1 9	大磯港西防波堤灯台	Ōiso Kō	35 18.1 N 139 19.4 E	F F1 G 6s 連成不動単閃緑光	毎6秒に1閃光	14
2 4 2 0	小田原港1号防波堤灯台	Odawara Kō	35 14.1 N	Iso R 4s		15

「灯台表」には、防波堤にあるような小さな灯台もすべて掲載されている。正式名称、緯度経度の詳細、標高、灯台の高さ、光達距離(マイル)、それに灯質が掲載されている。江の島灯台の場合、光達距離は25マイル(約40km)なので、相模湾を挟んで、三浦半島や熱海市あたりからも見えることなる。

「灯質」というのは、簡単に言えば「灯台の光り方」のことだ。「灯式」ともいう。主な灯質としては以下のようなものがある。(「灯台表」の凡例より)
FW; 不動白色光; 白く光りっぱなし。
Iso W 5s; 等明暗白光; 白光と消灯が5秒ごと。
F1 R 10s; 単閃赤光; 赤い閃光が10秒ごと。
QW; 連続急閃白光; 連続して閃光する白光。

江の島灯台の灯質は「F1 W 10s」なので、10秒に一回、白い光がキラッと見えるはずである。